

日本学術会議  
地域研究委員会 多文化共生分科会  
(第25期・第1回)

議 事 要 旨

1. 日 時 2020年(令和2年)10月31日(土)10:00~12:00

2. 場 所 遠隔会議(ビデオ会議での開催)

【出席者】岩間、上杉、窪田、小長谷、志水、鈴木、竹沢、松田、宮崎、吉村(あいうえお順)

【欠席者】石井、木村、速水

【議 題】

(1) 役員の選任および委員・特任連携会員候補者の検討

- ・委員長に竹沢泰子、副委員長に岩間暁子、幹事に窪田幸子、吉村真子を選出した。
- ・委員および特任連携会員について意見交換をし、候補者に打診することを確認した。

(2) 委員の退会について

- ・石井香世子氏、木村周平氏、速水洋子氏の退会を承認した。

(3) 10/11のシンポジウムについて

- ・公開シンポジウム「Withコロナの時代に考える人間の『ちがい』と差別 ～人類学からの提言～」(主催:日本学術会議 地域研究委員会、文化人類学分科会、多文化共生分科会、基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同自然人類学分科会文化共生分科会)
- ・1,000名規模の参加者で、文理融合での議論も大きな反響があった。とくに差別の問題について大きな関心が寄せられていた。

(4) 前期(24期)の活動内容(竹沢委員長)

- ・「提言」の発表後におこなった関係機関やマスコミなどへの連絡と各方面の反応について説明がなされた。

(5) 今期(25期)の活動計画

- ・今期の課題:今までの「提言」や「声明」での議論、議論すべき課題、理論化・理念化すべき課題について、議論を進めていくことを確認した。
- ・「多文化共生」について、日本の課題とグローバルな視点をふまえ、理論・理念の問題と実際の現場の問題などを総合的に考えていく。

(6) その他

- ・次回の分科会は2021年2月頃を予定。
  - ・志水委員から、以下の2件についての情報提供がなされた。
- ①「提言 すべての人に無償の普通教育を 多様な市民の教育システムへの包摂に向けて」日本学術会議 心理学・教育学委員会 排除・包摂と教育分科会、令和2年(2020年)8月26日。
- ②シンポジウム「すべての人に無償の普通教育を!ー日本学術会議分科会提言からの問題提起ー」2020年11月7日開催予定。(オンライン形式)

以上